

上越南地区商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）
イ 対象企業 同地区内商工会員
ウ 調査企業数 75 事業所（うち小規模事業者数 73 事業所）
エ 回答企業数 75 事業所
（回答率 100.0%）

(2) 調査対象期間

令和2年 10月～ 令和2年 12月
（調査時点： 令和3年1月4日）

(3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	25	33.3%	25	33.3%
2 製造業	10	13.3%	10	13.3%
3 卸売業	4	5.3%	4	5.3%
4 小売業	17	22.7%	17	22.7%
5 飲食・宿泊業	9	12.0%	9	12.0%
6 サービス業その他	10	13.3%	10	13.3%
合計	75	100.0%	75	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	71	4	0	75
構成比	94.7%	5.3%	0.0%	100.0%

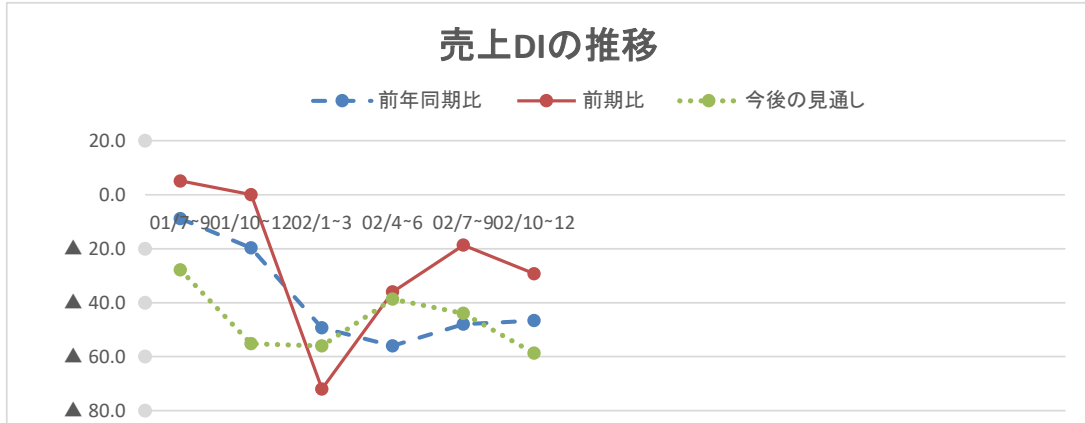
2. 地域内産業全体の景況概要

新型コロナウイルスの収束の目途が立たないことから、前年同期比から今後の見通しまで売上高は減少傾向にあるとの回答が多く見られた。また、建設業・卸売業については仕入単価の上昇等が売上や採算性をはじめとした景況判断で厳しいという回答が目立った。その結果、今後の見通しで景況判断が好転するとの回答は一昨年からはじめた景況調査以来、初めて僅か1事業所のみであり、厳しい状況は暫く続くものと思われる。

【売上高】

半数以上の事業所が前年同期比から今後の見通しまで売上高が減少傾向にあるとの回答であり、全体的に減少していることが窺える。特に、今後の見通しについては僅か5事業所しか増加との回答がなく、今後も悪化の傾向にあるとの回答が小売業、飲食・宿泊業を中心に多く見られた。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
10	20	45	15	23	37	5	21	49

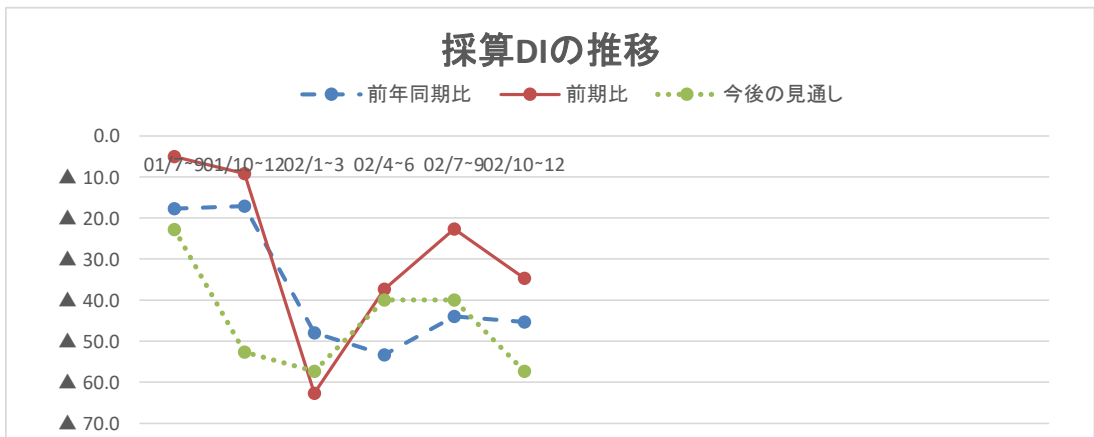


	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12					
前年同期比	▲ 8.9	▲ 19.7	▲ 49.3	▲ 56.0	▲ 48.0	▲ 46.7					
前期比	5.1	0.0	▲ 72.0	▲ 36.0	▲ 18.7	▲ 29.3					
今後の見通し	▲ 27.8	▲ 55.3	▲ 56.0	▲ 38.7	▲ 44.0	▲ 58.7					

【採算】

採算については、前年同期比・前期比・今後の見通しと全てにおいて悪化と回答した事業者が8割以上であり、DI推移は前期調査から比較すると下がっている。また、仕入単価の上昇も影響してか、全ての業種において今後も悪化の傾向にあるとの回答が多い結果であった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
7	27	41	10	29	36	3	26	46



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12					
前年同期比	▲ 17.7	▲ 17.1	▲ 48.0	▲ 53.3	▲ 44.0	▲ 45.3					
前期比	▲ 5.1	▲ 9.2	▲ 62.7	▲ 37.3	▲ 22.7	▲ 34.7					
今後の見通し	▲ 22.8	▲ 52.6	▲ 57.3	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 57.3					

【仕入単価】

仕入単価については低下と答えた事業所は少なく、大方の事業所は不変との回答であった。また、前年同期比・前期比・今後の見通しと全てのD Iが下がる結果となった。また、製造業及び卸売業並びに宿泊・飲食業においては、今後もまだ新型コロナウイルスの影響により材料等仕入が困難なことで仕入単価の上昇が懸念される。

前年同期比

上昇	不変	低下
12	56	7

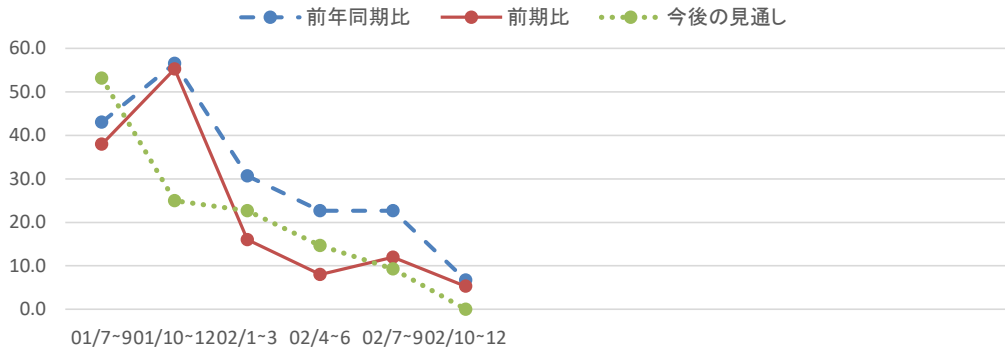
前期比

上昇	不変	低下
8	63	4

今後の見通し

上昇	不変	低下
9	57	9

仕入単価DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12					
前年同期比	43.0	56.6	30.7	22.7	22.7	6.7					
前期比	38.0	55.3	16.0	8.0	12.0	5.3					
今後の見通し	53.2	25.0	22.7	14.7	9.3	0.0					

【販売（客）単価】

販売（客）単価については、前回の調査同様に半数以上の事業所が前年同期比から今後にかけて不変であるとの回答であった。また、DI推移については前期同期比及び前期比については改善傾向にあるものの、今後の見通しについてはD Iが下がっていた。未だに新型コロナウイルス感染拡大による影響で、卸売業・小売業においては今後の見通しで低下するとの回答が目立った。

前年同期比

上昇	不変	低下
5	53	17

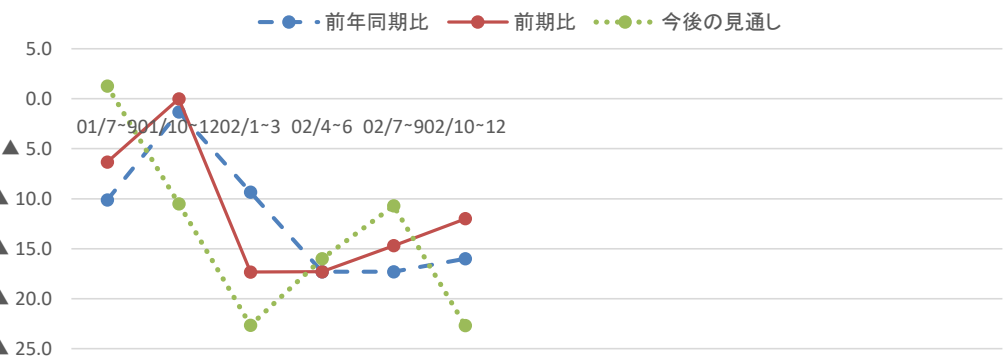
前期比

上昇	不変	低下
4	58	13

今後の見通し

上昇	不変	低下
2	54	19

販売（客）単価DIの推移

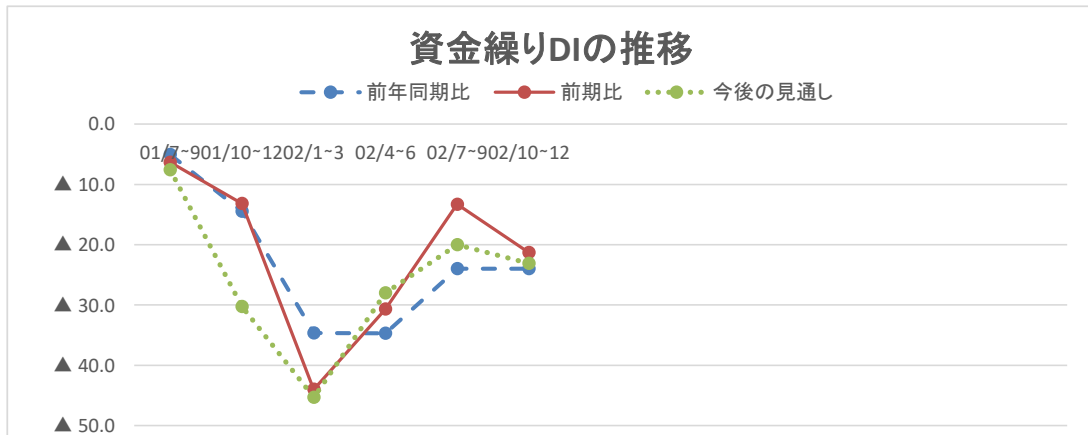


	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12					
前年同期比	▲ 10.1	▲ 1.3	▲ 9.3	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 16.0					
前期比	▲ 6.3	0.0	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.0					
今後の見通し	1.3	▲ 10.5	▲ 22.7	▲ 16.0	▲ 10.7	▲ 22.7					

【資金繰り】

資金繰りについては、殆どの事業所が前年同期比から今後にかけて不変もしくは悪化であるとの回答であった。DI推移でも前期比・今後の見通しはいずれも悪化しており、前期比では好転と回答した事業所はゼロであった。建設業、小売業、宿泊・飲食業において減少するとの回答が目立つ。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
1	55	19	0	59	16	1	48	26

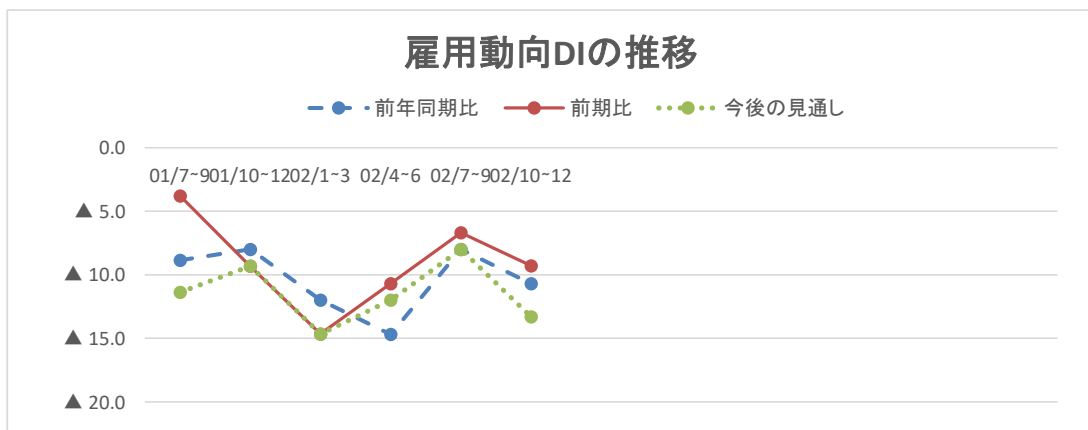


	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12
前年同期比	▲ 5.1	▲ 14.5	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 24.0	▲ 24.0
前期比	▲ 6.3	▲ 13.2	▲ 44.0	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 21.3
今後の見通し	▲ 7.6	▲ 30.3	▲ 45.3	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 23.1

【雇用動向】

雇用動向については9割近くの事業所が不変との回答であり、DI推移では前年同期比・前期比・今後の見通しと全てが下降している。また、調査を重ねるたびに減少の回答が増加していることが窺える。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
2	63	10	3	62	10	2	61	12



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12
前年同期比	▲ 8.9	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 14.7	▲ 8.0	▲ 10.7
前期比	▲ 3.8	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 10.7	▲ 6.7	▲ 9.3
今後の見通し	▲ 11.4	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 13.3

【景況判断】

景況判断については、前年同期比のみ半数以上の事業所が悪化と回答。また、前期比・今後の見通しについても半数近い事業所が悪化との回答であった。DI推移においては前年同期比は僅かであるが好転したが、今後の見通しにおいては悪化傾向の結果となった。特に、建設業・製造業・飲食・宿泊業については今後の見通しも危ういのではないかと不安視するコメントが目立った。

前年同期比

好転	不変	悪化
6	32	37

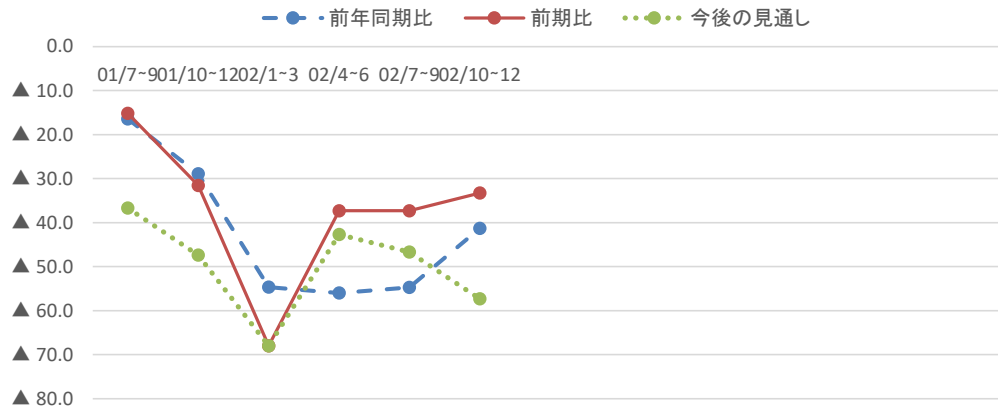
前期比

好転	不変	悪化
5	40	30

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	30	44

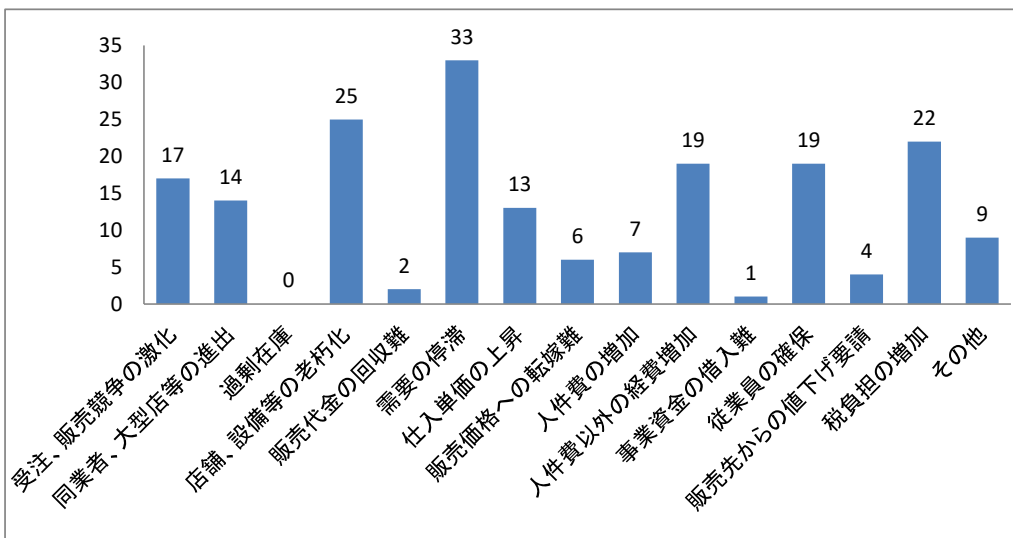
景況判断DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12						
前年同期比	▲ 16.5	▲ 28.9	▲ 54.7	▲ 56.0	▲ 54.7	▲ 41.3						
前期比	▲ 15.2	▲ 31.6	▲ 68.0	▲ 37.3	▲ 37.3	▲ 33.3						
今後の見通し	▲ 36.7	▲ 47.4	▲ 68.0	▲ 42.7	▲ 46.7	▲ 57.3						

【経営上の問題点】

経営上の問題点については、未だに新型コロナウイルスが収束しないことが影響し「需要の停滞」が最も多く、次いで「店舗、設備等の老朽化」「税負担の増加」が問題点として挙げられていた。「需要の停滞」については、調査したほぼ全業種において特に問題点として挙げている事業所が多く見受けられた。また、前回調査と比べ「店舗、設備等の老朽化」「人件費以外の経費増加」を問題点として挙げた事業所が増加したところが特徴的であった。今後の事業・経営において強化したい点・期待したい点等として、新規顧客・販路開拓やプレミアム商品券の継続等が挙げられている。



3. 産業別景況概要

(1) 建設業

建設業においては、売上・採算性・仕入等全ての調査項目で不変との回答が多く見られた。ただ、売上については前期比より好転と回答した事業所が約3割あった。しかし、今後の見通しについては半数以上の事業所が減少と回答しているのが気にかかる。経営上の問題点に関しては売上が減少している中で、「税負担の増加」を問題点としている事業所が多く、次に「従業員の確保」となっていたが、これについては従業員の高齢化や後継者不足からと思われる。景況判断に関しては、新型コロナウイルスの収束が見込めない限り、来期の景況についても悪化するのではと懸念される。

(2) 製造業

製造業の売上及び採算性については、前年から今期にかけて不変・減少と回答した事業所が目立った。今後の見通しにおいては調査した全事業所が不変もしくは悪化との回答であった。また、仕入単価については前年同期比・前期比・今後の見通しで上昇するとの回答した事業所が3割あった。経営上の問題点としては、「需要の停滞」を挙げる事業所が多かった。

(3) 卸・小売業

卸・小売業においては前回調査と同様に売上・採算性ともに前年から今後にかけて大方減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況も影響し、卸売は前回調査に引き続き売上は減少傾向。但し、小売業においては市のプレミアム商品券の使用期限内でもあり、前期比より売上が増加したと回答した事業所が3割であった。経営上の問題点として多くの事業所が「需要の停滞」を挙げていたほか、「店舗、設備等の老朽化」と「受注、販売競争の激化」も問題点として多く挙がっていた。

(4) サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

サービス業においては、売上及び採算性は大方の事業所が前年同期比から今後の見通しまで減少あるいは悪化傾向にあるとの回答が目立った。但し、飲食業については調査期間中にGo To Eatが発行されたことで需要の戻りも見られ改善するものの、年末にかけて食事券の販売が一時停止したことで、今後も厳しい状況と言える。また、飲食・宿泊業及びサービス業の最も多い経営上の問題点に上げられていたのが「需要の停滞」であり、次に「店舗、設備等の老朽化」が挙げられており、卸・小売業と同様な経営課題を抱えている状況であった。

今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

【 建設業 】

- ・販路開拓
- ・販路開拓の為の営業力
- ・想定外が多々多く行政及び民間の投資停滞を心配している

【 製造業 】

- ・事業承継を計画している。設備を増設したいが、工場の広さが足りない
- ・コロナによる注文の減少が、今後どう変化していくか不安材料となっている

【 小売業 】

- ・コロナ禍により、現物を見て仕入れることが少し困難になり、写真・絵型などを見ての仕入れ、インターネットの仕入れに移行しつつあり、細かな部分の仕入れが思うように出来なくなった
- ・顧客の高齢化
- ・コロナの影響で売り上げが下がっている状態ですが、対面販売でなくとも非対面型のインターネット販売で売り上げをしていけたらと思っています
- ・コロナはまだまだ続く（夏～秋）覚悟が必要のようです
- ・コロナ禍の現在、ずっと閉じたままの店をいつ始められるか不安です
- ・コロナ対策
- ・早期にネット販売戦略を行ったことにより、コロナの巣ごもり需要に対応でき売上が増加出来ている。コロナ収束後がどうなるか不安である
- ・プレミアム商品券と給食配達で売上減少を最小限に抑えることが出来た
来年もプレミアム商品券事業を継続希望
- ・コロナの影響でロッテ新井リゾートの取引が停止になった。若い人は瓶よりパック牛乳を好み高齢者が亡くなる毎に危機を感じる。若い世代の取り込みとして商工会からHPを作成してもらったので期待している

【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】

- ・コロナ禍が収まらないと人・物が廻らない又、イベント等も遠方には行けず厳しい状況である
- ・コロナによって宴会がほぼなくなってしまい収益が上がらない
- ・コロナ対策
- ・コロナの影響で大打撃を受けた。飲食以外の販売方法をしなければならいと感じている
- ・テイクアウト事業やGoToやプレミアム商品券が売上の下支えになった。来年も行って欲しい
- ・やれることをするしかないのでどうしようもない
- ・お客様の新陳代謝がない上に高齢者の死亡、介護施設への入所によりお客様が減る一方です
- ・豪雪と新型コロナウイルス感染症
- ・販路、新規顧客開拓